

なぜ被害者を責めるのか

参加費
無料

「そんな時間に
そんなところにいたからだ！」

「そんな服装をしてたからだ！」

こんな会話をまわりの人達としたり、インターネットで発信したり、閲覧したりしたことはありませんか？

「そんな時間にそんな場所にいたからでは？」「服装のせいでは？」「逃げられたのでは？」

事件や事故のニュースを耳にし、詳しいいきさつを知らないにもかかわらず、このようなことを心の中で思ったり、不特定多数の人たちが閲覧できるインターネットのサイト上で発信したり、身近な人に直接伝えたりした経験はありませんか。

被害者を責めれば、自分の不安はいくぶん解消されます。しかし、事情をよく知らない第三者から一方的に非難される被害者の方はどうでしょうか。

他人に起こった不運な出来事の原因を知りたい気持ちは誰にでもあります。原因が分かればなんだかスッキリします。その不運な出来事を自分だったら避けられる気にもなります。しかし、何が原因かは分からない、という曖昧な状態を受け入れる力も、最近は特に必要になっているように感じます。



立命館大学 総合心理学部 准教授
村山 綾 氏

♪プロフィール♪

1979 年生まれ。州立モンタナ大学心理学部卒業後、大阪大学大学院人間科学研究科 博士前・後期課程修了。博士（人間科学）。日本学術振興会特別研究員を経て、現職。専門は社会心理学。集団や社会で生じるコミュニケーションの齟齬（そご）について研究する。

【と き】 令和8年2月14日(土) 開会 午後1時30分～
(受付 午後1時00分～)
【ところ】 江府町人権文化センター 大会議室

【主催】 江 府 町 江府町人権・同和教育推進協議会 江府町教育委員会

連絡先：江府町人権文化センター 【電話】 7 5 - 2 6 2 4

日 程

1 開 会（午後1時30分～）

2 あいさつ

3 基調提案

4 集会宣言

5 実践報告

6 啓発標語の表彰式

7 講 演

演題「なぜ被害者を責めるのか」

講師 村山 綾 氏

（立命館大学 総合心理学部 准教授）

8 閉 会（午後4時00分終了予定）